

伸ばそう！子どもの学力

平成 25 年度全国学力・学習状況調査 三島市の結果
三島市教育委員会 平成 26 年 2 月発行



本調査は、子どもたちの学力や学習状況を把握し、その結果を今後の教育活動に役立てていくことが目的です。三島市学力分析検討委員会において分析した結果を報告します。

調査の概要

調査日 平成 25 年 4 月 24 日 (水)
調査対象 小学校 6 年生 中学校 3 年生

調査内容 ◎教科に関する調査 (国語、算数・数学)
A: 主として「知識」に関する問題
B: 主として「活用」に関する問題
◎質問紙調査 (児童生徒に対する調査)

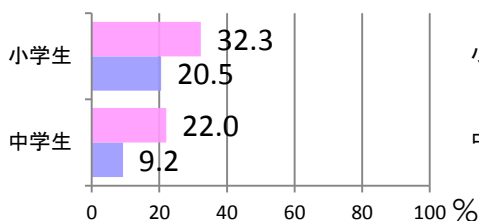
教科に関する調査の結果 (平均正答率の比較)

	小学校				中学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
全国との比較	やや低い	わずかに低い	高い	高い	高い	大変高い	極めて高い	極めて高い
静岡県との比較	高い	わずかに高い	高い	高い	高い	大変高い	極めて高い	極めて高い

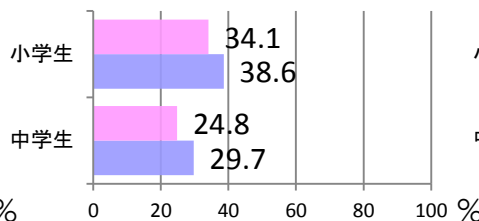
質問紙調査の結果 (全国と比べて分かった三島の子どもたちの生活や学習のよい傾向)

- 朝食を毎日食べている
- 普段、テレビやビデオの視聴時間が1日に3時間以内
- 図書室や図書館に週1回以上行っている
- 地域の行事に参加している (小学生)
- 人の気持ちがわかる人間になりたいと思っている
- 読書が好き
- 家で予習をしている (中学生)
- 学校に行くのが楽しいと思っている
- 自分にはよいところがあると思っている

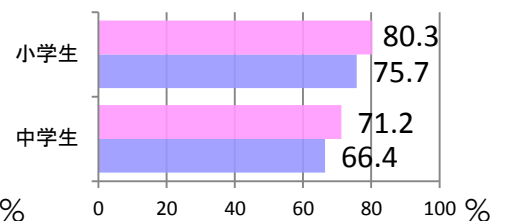
図書室や地域の図書館に週1回以上行っている



普段テレビやビデオを3時間以上見ている



自分にはよいところがあると思う



■ 三島市 ■ 全国

こんなところを伸ばしていきましょう

- 〈小学校〉 目的に応じて本や文章を読み、相手に分かりやすく伝えるように文を書くこと
- 〈中学校〉 文の接続に注意し、伝えたい事柄を明確にして書くこと

【小学校】 B問題 3

二人の推薦文を比べて読み、推薦する人物や理由を書く。

同じ作者の複数の作品を取り上げ、登場する主人公に注目しながら読んだ推薦文

一つの作品を取り上げ、注目した物語の最後の部分や全体を繰り返し読んだ推薦文

【本間さんが書いたすいせん文】	【花田さんが書いたすいせん文】	
○作者の作品を累めた本 ・「手紙をよむに」 ・「おじいさんのランプ」	○「ごんぎつね」	どのような本や文章をすすめているか
ア	○物語をくり返し読んだ経験がない人	どのような人におすすめしているか
ウ	イ	すすめる理由

前田さんは、二人のすいせん文を比べて読み、分かったことをノートにまとめました。フートの「ア・イ・ウ」の中に入るふさわしい内容を、本文中の言葉を使って書きましよう。

【解答のポイント】
読み手に問いかけている文を探してみましよう。

【解答のポイント】
同じ作者の作品を読むことで、本間さんがよかったと感じていることは何かを探ましよう。

【解答のポイント】
物語を繰り返し読んだことで、花田さんがどう感じたかを文中から探して薦める理由を書きましよう。

こんなところができています

- ◎漢字の読み、ことわざや接続語の意味の理解、敬語や歴史的仮名遣いの知識
- ◎文章の表現の特徴を捉えること

【小学校】 A問題 3 二(2)

「だから」を使って1文を2文に分けて書くとき、「だから」と同じような働きをする言葉を選ぶ。

新しく委員になった五年生は、放送機器の使い方が分からなくて不安そうにしていたので、ぼくは、これまでの経験を生かして、いろいろなことを教えてあげたいと思った。

- 1 しかし 2 また 3 ところで 4 それで
- 【正答 4】

【中学校】 A問題 4

図表「催し物案内」を読んで、「内容」の欄に共通する表現の仕方の説明として適切なものを選ぶ。

【催し物案内】

講座番号・講座名	日時	内容	対象	申し込み
① ペーパークラフト	6/8 (土) 10時～12時	クジラやペンギンなど海の仲間を紙で作ります。子どもに人気の催し物です。親子でも楽しめます。	小学生・中学生 ※保護者の参加も可	5/20 (月)まで
② 夏の星座を知ろう	6/9 (日) 第1回 10時～11時 第2回 14時～15時	プラネタリウムで夏の星座について学びます。七夕の伝説についても詳しく説明します。	どなたでも	不要
③ 料理教室	6/15 (土) 13時～16時	冷たいスイーツ作りに挑戦します。材料代200円が必要です。エプロンを	小学生以上 ※4年生以下は保護者同伴	6/3 (月)まで

- 1 どのようなことをするのかを簡潔な表現で紹介している。
 - 2 箇条書きを用いて申込の方法や期日を提示している。
 - 3 読者に問いかけるような形で参加を呼びかけている。
 - 4 参加者の感想を交えながら講座の魅力を伝えている。
- 【正答 1】

学校では

言語に関する基礎・基本
書くこと
読むこと

の指導を充実していきます

- ◎目的に応じて、情報の取り上げ方や書き方を工夫して書く活動を充実します。
- ◎根拠を明確にして、自分の考えを具体的に書く機会を増やします。

家庭では

様々な文章に接する機会

を増やしましょう

- ◎新聞やテレビのニュースなどについて家庭で意見を交わす機会をもちましよう。
- ◎新聞や本などを読み、活字や様々な文章に親しむようにしましよう。

* 紙面の都合上、調査問題と正答例を省略して示しています。

算数・数学

こんなところできています

- ◎基本的な計算問題を解くこと
- ◎図形の性質や特徴、三角形の合同条件について理解すること

【小学校】B問題③(1)
 長方形の面積を4等分する分け方の図と分け方の説明を対応させる。

はるみ
 底辺が3cm、高さが4cmの合同な直角三角形4つに分けました。だから、4等分になります。

げんた
 縦が2cm、横が3cmの合同な長方形4つに分けました。だから、4等分になります。

あきこ
 縦が2cm、横が3cmの合同な長方形2つ、底辺が3cm、高さが4cmの合同な直角三角形2つに分けました。半分の半分になっているので、4等分になります。

【正答 はるみ;2 げんた;1 あきこ;3】

【中学校】A問題⑦(1)
 AB=AC である二等辺三角形 ABC がある。辺 BC の中点を M として、直線 AM を引く。このとき、 $\angle BAM = \angle CAM$ であることを証明する。証明の□に当てはまる三角形の合同条件を選ぶ。

証明

$\triangle ABM$ と $\triangle ACM$ において、
 仮定から、
 AB = AC …①
 BM = CM …②
 共通な辺だから、
 AM = AM …③
 ①、②、③より、□ から、
 $\triangle ABM \equiv \triangle ACM$
 合同な図形の対応する角は等しいから、
 $\angle BAM = \angle CAM$

上の証明の□に当てはまる合同条件を、下のアからオまでの中から1つ選びなさい。

- ア 3組の辺がそれぞれ等しい
- イ 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい
- ウ 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい
- エ 直角三角形の斜辺と他の1辺がそれぞれ等しい
- オ 直角三角形の斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい

【正答 ア】

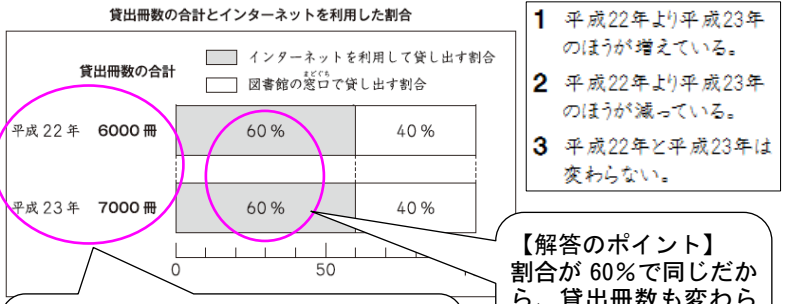
調査問題や正答例は文部科学省ホームページで見ることができます。

こんなところを伸ばしていきましょう

- 〈小学校〉単位量当たりの大きさを求める式と商の意味の理解
- 〈中学校〉関数関係を見いだして考えること
- 〈小・中〉事柄の特徴や理由を言葉や数、式など、数学的な表現を用いて説明すること

【小学校】B問題⑤(2)

平成22年と平成23年を比べると、インターネットを利用した貸出冊数は増えているか。1から3の中から1つ選び、そのわけを言葉と数や式を使って書く。



- 平成22年より平成23年のほうが増えている。
- 平成22年より平成23年のほうが減っている。
- 平成22年と平成23年は変わらない。

【解答のポイント】
 割合が60%で同じだから、貸出冊数も変わらないと考えてしまいそうですが…。

【解答のポイント】
 割合が同じだけど、貸出冊数の合計が違います。平成23年のほうがもとにする量が大きいことに注目しましょう。

【正答 1 わけ;省略】

【中学校】B問題③(3)

2つの数量X、Yの値の関係を表す点がグラフ上で一直線上にあると考えて求められる事象をアからエの中から1つ選ぶ。

ア 標高と気温
 X…標高
 Y…気温

イ 速さと時間
 X…速さ
 Y…時間

ウ 重さと料金
 X…重さ
 Y…料金

エ 時刻と気温
 X…時刻
 Y…気温

2つの数量X、Yの関係を表す点がグラフ上で一直線上にあるものはどれかを考えましょう。

グラフ上で一直線上
 ↓
 変化の割合が一定
 ↓
 一次関数の特徴

【正答 ア】

家庭では

お子さんが考え方を説明する機会

をつくりましょう

◎家庭学習では、できている内容と課題となる内容を確認しましょう。また、「なぜそう考えたのか」など考え方をお子さんが説明する機会をつくりましょう。

学校では

記述したり、説明したりする活動

を充実していきます

◎問題を解決するとき、言葉や数、式、図、表、グラフなど数学的な表現を用いて説明する活動を充実します。

このような子どもたちは平均正答率が高い傾向にあります

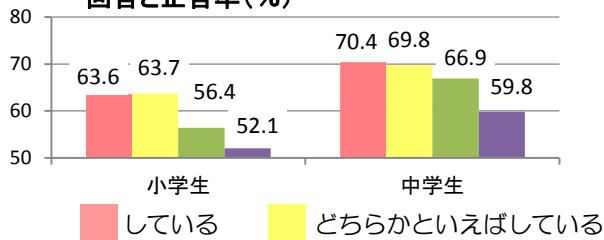
※このページでの平均正答率は、国語と算数・数学の正答率を平均したものです。

子どもたちの生活と平均正答率との関係

生活習慣

- ・毎日、同じくらいの時刻に起きたり、寝たりしている
- ・普段、テレビやビデオの視聴時間が1時間より少ない

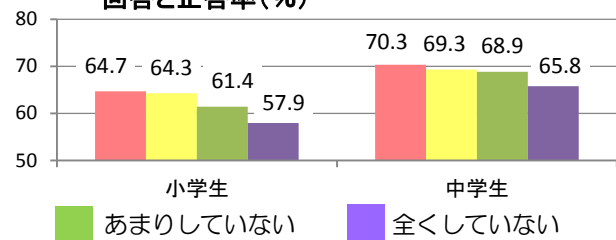
「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」の回答と正答率(%)



学習習慣

- ・家で、宿題、予習や復習をしている
- ・自分で計画を立てて勉強している
- ・読書が好き

「家で、学校の授業の復習をしている」の回答と正答率(%)



他者との関わり・きまりを守ること

- ・学校の規則を守っている
- ・人の役に立つ人間になりたいと思っている
- ・ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある
- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している
- ・携帯電話の使い方について家の人と約束したことを守っている、または、持っていない

学習への関心・意欲・態度

- ・文章を書くことを難しいと思わない
- ・国語や算数・数学の勉強が大切だと思っている
- ・国語の授業で、考えを分かりやすく話したり、書いたりしている
- ・算数・数学の授業で、問題を解くとき、諦めずにいろいろな方法を考えたり、公式の根拠を理解するようにしたりしている

子どもたちの学力をさらに伸ばしていくために



学校では…

- ・国語、算数・数学についての分析結果を授業改善に役立てていきます。
- ・自分の考えを書いたり、説明したりする活動を充実していきます。
- ・さらに家庭学習への支援を進めていきます。
- ・全校に配置している学校図書館司書とともにさらに読書活動を充実していきます。

家庭では…

- ・お子さんのよいところをほめてあげましょう。
- ・様々なことに興味を持てるように、身の回りのことや人と関わる機会を増やしましょう。
- ・お子さんがどのように家庭学習を進めているかを見届けましょう。